

# 教育センター だより 第95号



令和2年6月5日発行  
佐野市教育センター  
佐野市上羽田町1134番地1  
電話(20)3108  
(20)3048(相談専用)

## 佐野市の子供たちに強靱な「生きる力」を

佐野市教育委員会 教育長 津布久 貞夫

AIやIoTの普及をはじめ、自動運転技術の登場やゲノム編集技術の実用化など、今、世界で起きている急速な情報化や技術革新の進展は加速度的に私たちの生活や価値観を大きく変えるであろうといわれています。また、近年は、過去に類例がないほどの猛暑、熱波、豪雨などの異常気象や地震などが発生し、その結果として起こる社会の混乱など先を予想できないことが起きています。まさにこれからの社会をその中心となって活躍していく子供たちは、予測不可能な社会を生き抜かなければなりません。

### 生きる力 学びのその先へ

「学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に(略)つながってほしい。これからの社会がどんなに変化しても(略)思い描く幸せを実現してほしい。そして明るい未来を、共に創っていきたい。」(文部科学省「生きる力 学びのその先へ」とあるように、新学習指導要領は、2030年の社会と、さらにその先の豊かな未来を築く子供たちを想定してつくられています。私たちは、この理念を理解し主体的・対話的で深い学びによって未来を創造するための資質・能力を子供たちに身につけさせていかなければならないことは周知のとおりです。各校ともすでに新学習指導要領に対する準備をしっかりと整え今年

度を迎えたところかと思いますが、それでも、常に学習指導要領の理念に沿って教育活動を点検と改善をしながら進めていく必要があります。

### 社会に開かれた教育課程

子供たちにとって最大の教育環境は「人」です。子供たちが「生きる力」を身につけながら成長していくためには、子供たちの伸びようとする芽をしっかりと受け止め、常に寄り添い、そっと背中を押す教職員の存在は不可欠です。また、子供たちの生活基盤は家庭や家族ですが、それを温かく包み込む地域の人々の存在も欠かせません。学校教育は、地域の中の学校として保護者や地域の人たちと共に手を携え、子供たちの学びの場を創っていくシステムがより一層求められています。各校とも、これまでの貴重な積み重ねがあります。それをうまく生かして社会に開かれた教育課程の実践につなげたいものです。

ますます混迷を深める昨今の社会情勢の中で様々な情報があふれていますが、私たち教職員は状況を冷静に受け止め、佐野市の子供たちに強靱な「生きる力」を身につけるべく、ひとつひとつ教育活動を積み重ねていきましょう。